

## 平成29年度 実践課題と具体的方策の重点

### 1 学校経営

学校や地域の特性をふまえて、創意工夫を生かした特色ある学校経営を推進する。

- (1) 法令や帯広市学校教育基本計画に基づき、学校教育目標の達成を目指し、学校経営に努める。
- (2) 学校の経営方針や教育活動について、積極的な情報提供と説明責任を果たし、学校評価（自己評価・学校関係者評価）の実施・公表により学校改善に努める。
- (3) 服務規律の徹底を図るとともに、3つのS（スピード・誠意・スマイル）の合い言葉のもと、報告・連絡・相談を徹底し、活力ある学校運営に努める。

### 2 教育課程

「生きる力」を育む、知・徳・体の調和のとれた特色ある教育課程の編成・実施・評価・改善に努める。

- (1) 学習指導要領に基づき、広野小の特色を生かした年間指導計画の編成・実施・評価・改善の充実に努める。
- (2) 地域の自然や人材など、地域の教育力を積極的に活用することにより、感動をともなう体験活動など、特色ある教育活動を展開する。（笛舞交流・農園活動・環境教育等）
- (3) 教育課程の管理（指導内容・時数）に努め、余時数を有効活用し、効果的な指導及び工夫改善に努める。

### 3 教科指導

基礎的・基本的な事項の確実な定着と、自ら進んで学ぶ意欲を育てる授業の充実に努める。

- (1) 基礎学力タイム・充実タイムを有効活用し、個に応じた指導・子どものつまずきを見逃さない指導の充実に努める。
- (2) 学習規律を徹底し、6年間一貫した学習指導をしていく。
- (3) 子どもの習熟度や興味・関心を捉えた、個に応じた指導の充実に努めるとともに、**言語活動や ICT 活動を充実し、表現力を高める指導の充実**を図る。
- (4) 複式授業のよさを生かし、**間接指導での対話的で深い学び**を実現させる。
- (5) 家庭と連携・協力して、**主体的に学習する習慣**をつける。

### 4 道徳教育

望ましい人間関係の構築や規範意識の醸成など、道徳的実践を重視した指導に努める。

- (1) **「対話し、議論する道徳」への質的転換を図り**、「わたしたちの道徳」の活用や、心に響く資料・豊かな体験をもとに、内面的な自覚を促す指導法の工夫等、道徳教育の充実に努める。
- (2) 学校の教育活動全体を通して、思いやりの心や生命尊重、規範意識など豊かな心を育む。
- (3) 参観日での授業公開や、外部講師として地域の人材を活用するなど、**保護者や地域との連携**を図り豊かな心を育む。
- (4) 道徳教育推進教師を中心とした教育体制を確立し、全校道徳を継続する。

### 5 外国語活動

外国語活動をととして、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育む。

- (1) **英語の教科化を見据え**、外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験できる指導計画の充実と改善に努める。
- (2) 言語や文化について、体験的に理解が深まるよう指導方法の工夫に努める。
- (3) A L T等との異文化をもつ人との交流等、文化の理解を深める体験的活動を設定する。

## 6 総合的な 学習の時間

目標や内容、教科との関連を見通して指導計画を作成し、自ら課題を見つけ、自ら追究し、豊かな生活を追求する子どもを育む。

- (1) 子どもや地域の実態をふまえ、創意・工夫を凝らした特色ある計画を立案する。
- (2) 学びを支える**追究プロセス**を習得させ、課題設定・追究の力をつける。

## 7 特別活動

望ましい集団活動をととして、心身の調和の取れた個性の伸長を図り、豊かな人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度の育成に努める。

- (1) 特別活動のねらいを明確にし、児童個々の目標を明確にした活動の工夫・改善に努める。
- (2) 児童が主体になった仲間づくりを充実させ、一人一人の子どもに存在感や成就感を実感させる。
- (3) ねらいを一層明確にし、指導の系統性を意識した学校行事を実施する。
- (4) **異年齢集団での活動**を進め、各学年の自覚と責任感を醸成する。
- (5) 体験的な活動や奉仕活動を積極的に進め、充実を図る。

## 8 特別支援 教育

一人一人の教育的ニーズに応じた、効果的な指導の充実に努める。

- (1) 特別支援コーディネーターを窓口にも、関係諸機関との連携を図る。
- (2) 教育的ニーズに応じた個別の指導計画、個別の支援計画を作成し、交流学习を取り入れ、効果的な指導の充実に努める。
- (3) 障害者差別解消法の観点にたち要支援児童への全校的な支援体制を整える。

## 9 生徒指導

全職員が深い児童理解と共通行動のもと、生徒指導の指導体制の充実に努め、いじめや不登校の未然防止、早期発見・早期解消に努める。

- (1) 共感的理解による教師と児童の信頼関係を構築する。
- (2) 教育相談等により、個に応じた指導・支援に努める。
- (3) 学校と家庭、学校間、地域、関係諸機関との連携を図る。
- (4) 基本的な生活習慣の形成と指導の充実に努める。(あいさつ、返事、後片付等)
- (5) いじめ防止対策委員会を機能させ、**いじめの未然防止、早期発見・早期解消**を徹底する。

## 10 健康・ 安全指導

自他の生命や健康・安全について考え、健康で安全な生活を送ることができる実践的態度の育成に努める。

- (1) 望ましい生活リズムを家庭と連携を図りながら推進する。(早寝・早起き朝ごはん、ノーテレビデー)
- (2) 新体力テストにより、自分の体力の実態や**経年変化を把握**させ、体力向上のための1校1実践、体育の授業の充実・改善を図る。(個人ファイルの作成)
- (3) **立腰を意識**させ、正しい姿勢で生活させる。
- (4) 学年の発達段階に即した「性に関する指導」の充実に努める。
- (5) **「食に関する指導」「望ましい生活習慣に関する指導」「心身の健康に関する指導」**等、より実践的な態度の育成に向けて日常的な指導に努める。

## 11 学級経営

共感的な児童理解に努め、学級への所属感や存在感、自己有用感を実感させる学級経営に努める。

- (1) 学級経営案を作成し、支持的・受容的な学級経営に努める。
- (2) 全教職員で全校児童を見守り・育むことを前提に、学級担任への支援体制を構築する。
- (3) **いじめや問題行動等の早期発見・未然防止**のために、**素早い情報の報告・連絡・相談・交流**に努める。

## 1 2 校内研修

日常の教育実践の改善・充実に直結した研修活動を展開し、専門性を高める。

- (1) 校内体制を確立し、教員の資質・能力の向上を目指す 校内研修の充実に努める。
- (2) **各種調査（全国学力学習状況調査、CRT、チャレンジテスト等）を全職員で分析**し確かな学力の定着を目指した指導法の工夫改善に努める。
- (3) 仮説に基づく研究の手立てを日常の授業で追究・検証し、**積極的に公開**して研究の可視化を図る。（**パナソニック研究実践助成、複式研修塾**の活用、）
- (4) 八千代中学校との研究交流を意図的に進め、小・中連携を推進する。
- (5) 各種研究会、研究協議会、研修講座等への積極的参加に努める。
- (6) 外部からの講師の招聘や指導助言を受ける機会の設定と実技研修の充実に努める。

## 1 3 教育環境

学校・家庭・地域の連携協力のもと、ゆとりと温もりのある学習環境の整備に努める。

- (1) 地域のよさを生かした様々な生活体験や自然体験の場や機会を広げる。  
（自然環境、人材、施設の有効活用とこれを生かした教育活動の展開）
- (2) 教室環境を工夫改善し、美化の徹底と言語環境の整備、適正化に努める。
- (3) 職員間およびPTAの連携・協力により教育環境の整備を一層進める。
- (4) 生涯教育推進委員会やスポーツ少年団の活動に積極的に協力する。

## 1 4 家庭地域との連携

家庭・地域に開かれた学校を目指した取り組みに努める。

- (1) 学校だより、学級通信、授業参観や懇談会等を通じ、保護者・地域との連携を強化した指導を推進する。
- (2) 情報提供と説明責任を果たすための取り組みを積極的に進め、保護者・地域に信頼される学校経営に努める。
- (3) 帯広市**エリアファミリー構想**に則り、**保育所、中学校**との滑らかな接続を図るため、**連携を密**にする。
- (4) 学校支援地域本部事業、子どもの居場所づくり、図書ボランティアの活動を充実させ、ネットワークを構築して**こども学校応援地域基金プロジェクト**の活動推進に寄与する。
- (5) **家庭、地域、関係機関等と連携**を図った交通安全・防犯・防災教育を充実させる。

## 1 5 学校事務

学校事務の適正且つ効率的な運用に努める。

- (1) 適正・的確な学校予算の執行及び文書管理・文書収受に努める。
- (2) 教育活動の効果的な展開を支える学校事務を継続し、一層の充実に取り組む。

## 1 6 笛舞交流

日高管内の笛舞小学校との交流学习を成功させ、子どもたちの友情と信頼を深め、心の教育を図る。

- (1) 笛舞小との綿密な打ち合わせに努め、スムーズに交流学习に繋げる。
- (2) 保護者、地域との連携を図り、感動をともなう体験活動を充実させて、豊かな心の育成をはかる。